



2022 MotoE World Cup

Hikari Okubo 大久保光

2022.5.30. スペイン GP ヘルスサーキット 予選 8 番手 決勝 6 位 & 5 位



大久保光は、MotoE 参戦 2 年目を迎えました。オフシーズンには、電動バイクを購入して、独自のトレーニングをこなしました。また、MotoE は 260 キロと重く、それを操るために必要な筋力アップに努めました。ヨーロッパでのテストに参加し、2 日目には、総合 3 番手タイムを記録、大きな進歩を確認して帰国。全日本ロードレース選手権第 2 戦鈴鹿 2 & 4 にも参戦しました。鈴鹿 8 時間耐久を目指しての参戦となり、マシンを一からセットアップするテスト参戦となりましたが、木曜日の走行から精力的に乗り込み、60 台エントリーという激戦の中で予選 15 番手、決勝は 2 レース開催され、ウェットとドライのレースをこなし 14 位 & 14 位でレースを終え、その後、スペインへと向かいました。

モトEの開幕戦はロードレース世界選手権併催、スペインのヘルスサーキットで行われました。大久保は、唯一の日本人ライダーとして参戦、表彰台を目指します。フリープラクティス 2 では、7 番手 1'49.302 を記録、予選に挑み 1'49.001 と詰めますが、予選 8 番手となります。レース 1 はトップ集団を追い 6 位となります。トップとの差は約 2 秒。レース 2 では、5 位争いを MotoE チャンピオン獲得した、マツテオ・フェラーリ、ジョルディ・トールレスと繰り広げ、そのバトルを制して 5 位となりました。トップとの差は約 1 秒と迫り、確実にトップライダーとしての認知を得ます。



大久保光

「ヘレスは、スペイン人ライダーにとって、ホームコースのようなもので、とにかく強い。自分としても、あまり得意なコースではないので、対策として、小椋藍が Moto2 でポールポジションを獲得していたので、ヘレス攻略を聞いて、アドバイスをもらいました。バイクが違うので、全てが当てはまるわけではありませんが、参考にしてトライしました。今回は、全体的にタイムが上がらず、トップ集団との差も大きくなく、チャンスはあったので、悔しい気持ちもありますが、シリーズを考えると、チームとしては、確実にポイントを取ることを掲げていたので、最低限の結果は残せたのだと思います。2レース目は、チャンピオンのふたりを抑えたことで、チーム監督がとにかく、喜んでくれたのが嬉しかったです。もちろん、結果には満足していませんが、昨年と比べて、トップ争いが近く、成長を感じることが出来ました。急に、そこに追いつくことはないと思いますが、小さな積み重ねを大事に、確実に進んでいきます。次戦のルマンは、24 時間耐久の経験もあり、他のコースよりは知っているので、しっかりと表彰台を目指します」

※MotoE 第 2 戦ルマンで、5 月 15 日に開催されます。